

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ①満期保有目的の債権…償却原価法(定額法) によっている。
- ②その他の有価証券で時価のあるもの…期末日の市場価格等に基づく時価法によっている。

#### (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

- ①出版物…個別法による時価（売価）法によっている。
- ②貯蔵品…個別法による原価法によっている。

#### (3) 固定資産の減価償却の方法

- ①車両  
定率法によっている。
- ②リース資産  
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産  
リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法によっている。

#### (4) 引当金の計上基準

退職給付引当金は、職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務（簡便法による自己都合要支給額）に基づき、財団が負担すべき額を計上している。

#### (5) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっている。

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	556,552,250	77,073,561	72,000	633,553,811
小計	556,552,250	77,073,561	72,000	633,553,811
特定資産				
退職給付引当資産	41,217,385	3,069,030	390,325	43,896,090
運営資金引当資産	77,500,000	27,120	27,120	77,500,000
減価償却引当資産	4,048,637	15,113	0	4,063,750
基本財産準備資産	6,515,200	0	0	6,515,200
小計	129,281,222	3,111,263	417,445	131,975,040
合計	685,833,472	80,184,824	489,445	765,528,851

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当)	(うち一般正味 財産からの充当)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	633,553,811	633,553,811	0	—
小計	633,553,811	633,553,811	0	—
特定資産				
退職給付引当資産	43,896,090	0	0	43,896,090
運営資金引当資産	77,500,000	0	77,500,000	0
減価償却引当資産	4,063,750	0	4,063,750	0
基本財産準備資産	6,515,200	6,515,200	0	0
小計	131,975,040	6,515,200	81,563,750	43,896,090
合計	765,528,851	640,069,011	81,563,750	43,896,090

4 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位：円)

補助金の名称	交付者	前期末 残高	当期末増加額	当期減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
文化振興 事業補助金	姫路市	0	103,003,000	103,003,000	0	
国際交流 補助金	姫路市	0	33,718,872	33,718,872	0	
外国人県民 に対する相 談事業経費 負担金	兵庫県国際交 流協会	0	824,000	824,000	0	
合計		0	137,545,872	137,545,872	0	

## 貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書

### 1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載しているもので省略。

### 2 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	41,217,385	3,069,030	390,325	0	43,896,090